

平成27年度第1回南城市総合教育会議（議事録）

日時：平成27年11月30日 14:00～14:50

場所：南城市役所 玉城庁舎 農事研修室

参加者：南城市長 古謝景春

教育委員長 金城一男、教育長 山城馨

教育委員 田場晴美、屋冨哲司、上原廣子

首長部局 総務部長 當眞隆夫、総務課長 泉直人、総務係長 新垣郷太

教育委員会 教育部長 知念進、教育総務課長 森田松吉、

教育総務課係長 外間明

1. 市長挨拶

委員の皆様には、日頃から、我が南城市の子供たちの教育にご尽力をいただき、心から感謝を申し上げます。今般、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正ということで、初めての会議となっております。

私は、地方教育行政法の改正をあまり望んではいなかったというのが実感であります。我々は、教育委員会とこれまでもずっと円滑にいろんな連携を取りながら教育行政を担ってきたということで自負をいたしております。一部で教育行政と長部局にあまりにも軋轢があって、法改正を行ったものだと考えておりますが、我が南城市では、そういうことはなく、スムーズに進んでおりました。しかし、法律の改正でございますから、むしろプラスに考えて首長部局と教育委員会がもっともっと緊密に子供たちの将来について、また現状について語り合いながら改善をしていくという方向性を定めながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしく申し上げます。

2. 教育長挨拶

本日は、第1回総合教育会議が開催されることとなり大変うれしく思っております。古謝市長には、日頃から「まちづくりは人づくりから」の理念のもと、学校教育環境の整備や生涯学習、地域文化の振興、人材育成など本市教育振興のため深い理解を示され、強力なリーダーシップを発揮されていることに、心から敬意と感謝の意を表します。

教育環境が大きく変わる中、様々な教育課題が起こっています。それに対応していくに当たり、教育委員会だけでなく行政各部署との連携は不可欠であります。

先ほど市長もおっしゃったようにこの教育総合会議で市長と教育委員会が協議、調整することによりまして教育政策の方向性を共有し、共通認識をもって執行に当たれるということは大きな意義があると考えております。

未来を担う子供たちは南城市の宝であり、地域の財産です。それぞれの可能性を引き出し、健やかにたくましく成長できるような環境を整備することが私たちの責務であります。

学校教育、青少年健全育成はもとより、生涯学習の充実、地域文化の振興など、南城市の教育がさらにさらに発展するよう、首長部局と教育委員会が、ジンプンを出し合い、汗をかいて、しっかりとスクラムを組んで実践していきたいと考えてい

ます。

本日は、どうぞよろしく申し上げます。

3. 制度改正の説明（教育委員会 森田課長）

地方教育行政の組織及び運営に関する法律が今年の4月1日から改正されました。その中で、いくつかの教育行政の制度が改正されております。

まず、教育長ですが、これまで教育委員の一委員で、教育委員の中から任命されていましたが、基本的には教育委員の中からではなく、首長が議会の同意を得て、任命することになりました。

教育長の任期がこれまでの4年から3年になりました。

それから、教育委員長がなくなりました。

いじめによる自殺等の防止について国による教育委員会への指示、対応ができることになり、明確化されております。

その中で、教育大綱の策定がございます。改正で新たに定められた第1条の3の中で地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育・学術・文化の振興に関する総合的な大綱を策定する教育大綱の策定が義務付けされております。また、教育大綱を定めて、これを変更する場合は、総合教育会議において、協議するものとするとしてされており、今回の会議になっております。

第1条の4では、総合教育会議の設置についてうたわれておりまして、構成委員が地方公共団体の長それから教育委員会となっております、我が南城市では、市長と教育委員の皆さんとなっております。

最後に、策定されました大綱については公表が義務つけられておりまして、今後ホームページ等で公表していく予定になっておりますので、よろしくお願いたします。

4. 会議の運営方法について（総務課担当者）

会議規則の確認

先ほど、教育総務課の森田課長から説明のありました件を明文化したのになります。（南城市総合教育会議規則を読み上げて説明）

古謝市長 会議の議長について項目を設けたほうがよい。

事務局 市長の指摘のとおり、会議の議長について規定がないので、市長を会議の議長とする条文を付け加えたいと思います。

今後のスケジュールについて

別紙（平成27年度 総合教育会議と関連する主なスケジュール(案)）を説明

古謝市長 お諮りします。

ただ今、事務局より、会の運営方法について説明がありました、会議規則の確認につきまして、修正案のとおり決することにご異議ありませんか。

委員全員 異議なし

古謝市長 異議なしと認め、修正案のとおり決定したいと思います。

古謝市長 次に今後のスケジュール（案）に関してお諮りします。
4月と10月の年2回開催することよろしいでしょうか。

金城教育委員長 スケジュール（案）ですが28年度にした方がよいのではないですか。

古謝市長 4月からの日程になるので28年度に修正して日程表を訂正お願いします。

古謝市長 スケジュール（案）に関して、修正して決定してよろしいでしょうか。

委員全員 異議なし

古謝市長 大綱の制定方法について、原案が作成されております。これは南城市の方針として作成されておりますので、事務局から説明をお願いします。

総務課 新垣 大綱について（原案）読み上げて説明
・補足説明 南城市の総合計画、南城市の教育などを参考に作成しております。

古謝市長 ただ今、事務局から大綱の原案が読み上げられ説明がありました。何か質疑がありましたらよろしくをお願いします。

上原教育委員 1番の学校教育の充実の4行目ですが、「学校施設・整備の充実」では意味が分からないのではないかと。

森田教育総務課長 転記ミスであり、「学校施設・設備の充実」が正しいです。

森田教育総務課長 大変すみません、もう1か所訂正があります。2. 教育の機会均等を図るための子どもの貧困対策の推進の5行目の中ほど「次世代の沖縄」を「次世代の南城市」に修正をお願いします。

金城教育委員長 挿入もよろしいでしょうか。学校教育の中に国際情報化があるのですが、中国、アメリカとも交流があるのに1行だけの表記になっている「小中高校教育の英語、中国語などの外国語の国際理解教育を促進する」を挿入した方がよいのではないかと。

山城教育長 南城市総合計画のP87にも記載されているので参考にした方がいい。

古謝市長 現在もアメリカや中国に短期留学等で継続して子供たちを派遣しているので文言を追加した方がいいですね。

古謝市長 国際交流のことについて事務局で修正することを、一任してよろしいですか。

委員全員 異議なし。

金城教育委員長 スポーツ・レクリエーション活動の推進で競技力の向上は当然ですが実際は、トップレベルのスポーツの誘致を行っているのもそのことも触れてほしい。

古謝市長 網羅して記入するということでよろしいでしょうか。

委員全員 はい。

金城教育委員長 現在馬天小学校で特別支援教育を行っていますが、特別支援教育についても追加してほしい。

古謝市長 学校教育の中に追加した方がいいと思います。

古謝市長 他にございませんか。

古謝市長 よろしいでしょうか、それでは、お諮りします。
南城市の教育及び文化の振興に関する大綱については、只今ご指摘があった内容に修正して、原案のとおり決することにご異議ありませんか。

委員全員 異議なし。

古謝市長 異議なしと認めます。

古謝市長 次に意見交換会に移りたいと思います。

古謝市長 まず、初めに私から、明日、「沖縄の子どもの貧困に関する内閣府・沖縄県・市町村の意見交換会」がございます。これは島尻愛子大臣が誕生して沖縄の貧困の子どもたちが多すぎるということをどうにか解消したいと市町村の現状を踏まえて、国としてもしっかりとサポートしたいという趣旨のもと開催されます。その冒頭で市長会の会長として意見を求められておりますが、南城市長として久高島留学センターの経緯。子供たちは環境を変えることによって、自立に導くことができる。誰ひとり悪い子供はいない。環境により貧困が生まれることがあるので、サポートする環境を整える方向で検討していて、久高の実績について述べたいと思います。取りまとめた資料がありますのであとで配布したいと思います。

福祉部と調整してびっくりしたことは、本市でも児童虐待がかなりの数あるので、児童家庭課と連携をとり、対策をしているところであるが、児童相談の件数が年々増えているのでケースワーカーや相談員を増やして対応してほしいと要望していきたい。就学前の子供たちもいますので、教育委員会においても児童家庭課と連携を図って対策を考えてほしいと教育長に伝えてある。

本市では、ひとり親世帯や生活困窮世帯において、児童扶養手当の支給前に多大な出費がある場合、法律で救えない世帯に対して、職員が寄付を募り、蓄えている基金から資金を提供する取り組みを行っています。

上原委員 数年前から危惧している件があります。それは、様々な状況でひとり親となった世帯をどのように把握してサポートしていくかです。ひとり親は

小さい子供を抱えているケースもあるので、就職できるようなサポートも必要だし、どのような要望があるか、民生委員と連携して対応したいと考えていますが、行政としても漏れることがないように対策してほしい。

古謝市長 本市では、雇用サポートセンターを設置していて、本人より求人情報の申し出があった場合、窓口でも案内している。また、8月から社会福祉課がハローワークと連携して、生活困窮者に仕事が提供できるようなサポート体制をとっている。来年の4月から本格稼働する予定です。

待機児童の解消についても保育園の法人化、新設できる個所を探すなど様々な対策をしているが、人口増加に対応できていない状況であります。

上原委員 女性の立場からは是非、対策を講じてほしい。

金城委員長 幼稚園とこども園についても需要が増えてくると思うので対策が必要になってくると考えている。

古謝市長 幼稚園教育はもちろん、放課後の子ども達の受け入れが必要になってくることを考え、本市は児童館の充実を図ってきたが、行政だけでは充分でないので、ボランティアも活用した取り組みも必要だと感じている。

全地区で幼稚園の2か年保育ができるようにしてほしい。

金城委員長 市内からも多くの学生が通っている八重瀬町にある高校の交通の便が悪く、親の負担になっている件で、かなりの要望があったと思うが。

古謝市長 市では、市内のみの利用に限られてきたデマンド交通を向陽高校まで伸ばすことができないか調整をしてきましたが、平成27年11月から利用が可能となった。これは、教育委員会をはじめ職員が努力した成果だと考えています。

古謝市長 他にございませんでしょうか。

古謝市長 今回は初めての会議でありましたが、今後は年2回開催していきまのでいろいろなことを協議していきたい。また、関係機関も入れて行っていきたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

古謝市長 以上で意見交換会を終了いたします。